

年	組	名前
---	---	----

# 男女平等 職場まだまだ

家庭内では進んでいるが……

家庭内の男女平等は進んでいるが「職場ではまだまだ」。県が実施した人権に関する県民意識調査で、そんな実態が浮かび上がった。今後、急速に進んでいく人口減少社会では、労働力人口を確保するためにも、女性の社会進出が重要視されており、県人権・同和対策課は「女性が働きやすい環境をつくるため、啓発活動に地道に取り組みたい」と話している。

調査は2013年度に実施とみられる。「女性に関する」と思いますが「の質問されるもの」を11項目から選んで「家庭内」と「職場」でふ設問（複数回答）では、大きな違いが出た。家庭内「採用、昇任、賃金など」では半数近い47.6%が「平（53.4%）が「ドメステ等」「ほぼ平等」と回答し、「採用、昇任、賃金など」の5年前の前回調査と比較すると、家庭内は「平等」を抑えてトップ。同課は「女性管理職の少なさを、働いた。賛成派は若年層ほどが7.0%増えたのに対し、現場での格差が実感としてあるのではないかとみている。背景には、女性を取り巻く就業環境の厳しさがある。協力する態勢への理解が深まっている。一方、家庭内では男女でまわっている。家事や育児を夫婦で分担した方が良い」では「賛成」「どちらかといえば賛成」が87.6%を占め、夫の「家庭進出」は男女とも共通認識となっていることがうかがえる。

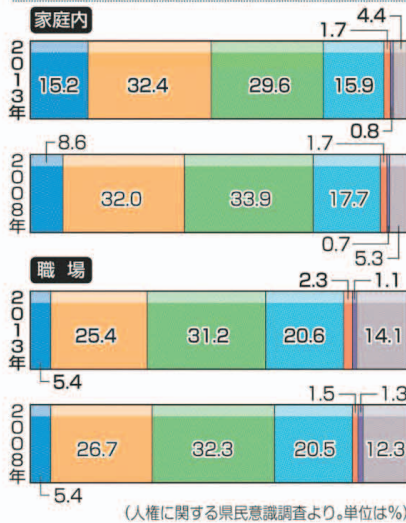
(2015年1月27日朝刊23面)

## 「採用、昇任、賃金」問題53%

### 県民意識調査

「男女平等が実現していると思いますか？」

■ : 男女平等が実現している    ■ : ほぼ男女平等  
■ : やや女性に不利益    ■ : 女性に不利益    ■ : やや男性に不利益  
■ : 男性に不利益    ■ : 分からない



こうしたニーズを受けた働き方を後押しするため、同課は「行政や各種団体でつくる人権教育啓発推進協議会を通し、各企業への啓発講師のあっせんなどに力を入れている」と話している。

家庭内の男女平等は進んでいます。職場ではまだまだのようです。

①職場で「やや女性に不利益」「女性に不利益」を足した数は、5年前に比べて増えた？減った？それは何%でしょう。

②家庭内の男女平等は進んでいます。こういった認識からでしょう。

③昔ながらの「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」に賛成ですか反対ですか、話し合ってみよう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....